

東京キャラバン2019

東京2020オリンピック・パラリンピックの公認文化オリンピックののひとつである「東京キャラバン」は、劇作家・演出家・役者の野田秀樹・総監修のもと、言語や国境、表現ジャンルを越えた多種多様なアーティストたちへの参加を呼びかけ、これまでおおよそ交わることのなかった表現者同士の“文化混流”を実現させることで、2015年より今日まで東京キャラバンでしか見ることのできない新しい表現によるパフォーマンスを創出し続けている文化ムーブメントです。そんな「東京キャラバン」が、東京2020を間近に見据えた2019年、さらに進化し、全国5か所(いわき市、埼玉県、富山県、岡山県、北海道)で開催します。

今年度は野田秀樹が北海道に、2017年の熊本県、2018年の豊田市に続き近藤良平(振付家・ダンサー・“コンドルズ”主宰)はいわき市に、そして「東京キャラバン in 高知」を率いた木ノ下裕一(ドラマトゥルク・“木ノ下歌舞伎”主宰)が富山県で創作します。また、新たなリーディングアーティストとして、福原充則(劇作家・演出家)らが“文化混流”に挑戦。さらにメインビジュアルには、新進気鋭の画家、石原七生を迎えます。2020年の東京開催に向けて、ますます躍動する東京キャラバン2019にご期待ください!

開催概要

※各回の詳細は別途発表します。

東京キャラバン in いわき —“コンドルズ”主宰・近藤良平が躍る!!—

- 日程 : 2019年5月19日(日)
会場 : アクアマリンパーク内特設会場 (福島県いわき市小名浜辰巳町地内)
参加アーティスト : 近藤良平(振付家・ダンサー・「コンドルズ」主宰)、
チャンキー楽団(小西英理/ピアノ・アコーディオン、坂口修一郎/トランペット、
しみずけんた/カバキーニョ、チャンキー松本/歌・切り絵、南條レオ/パーカッション、
ぽん宇都良太郎/ベース、岡田カーヤ/アルトサクソフーン)、オナハマリリックパンチライン
(ラップグループ)、上三坂やっちき踊り保存会、下綴青年会(じゃんがら念仏踊り)、
スパリゾートハワイアンズダンシングチーム、スパリゾートハワイアンズファイヤーナイフダン
スチームSiva Ola ほか
主催 : 東京都、アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、いわき市
協力 : 小名浜まちづくり市民会議

リーディングアーティスト プロフィール

近藤 良平

「コンドルズ」主宰。振付家・ダンサー。男性のみ、学ラン姿でダンス、映像、コントなどを展開するダンスカンパニー「コンドルズ」は、2016年、20周年記念となるNHKホール公演を即日完売超満員に。追加公演も行う。世界30カ国以上で公演。NHK「サラリーマンNEO」、「からだであそぼ」などに振付出演。同「てっぺん」オープニングの振付も担当。東京スポーツ国体2013開会式式典演技総演出担当。第4回朝日舞台芸術賞寺山修司賞受賞。第67回芸術選奨文部科学大臣賞受賞。第67回横浜文化賞受賞。女子美術大学、立教大学などでダンスの指導も行う。現在、NHKエデュケーショナルと共に0歳児からの子ども向け観客参加型公演「コンドルズの遊育計画」や埼玉県と組んで行う「近藤良平と障害者によるダンス公演」コンドルズ公演など、多様なアプローチでコンテンポラリーダンスの社会貢献に取り組んでいる。南米育ち。愛犬家。



撮影: HARU

東京キャラバン2019 開催概要

※各回の詳細は別途発表します。

東京キャラバン in 埼玉

日程(予定) : 2019年10月13日(日)
会場(予定) : 大宮公園内特設会場(埼玉県さいたま市大宮区高鼻町4)
主催(予定) : 東京都、アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、埼玉県

東京キャラバン in 富山 —“木ノ下歌舞伎”主宰・木ノ下裕一に決定!!—

日程 : 2019年11月3日(日・祝)、4日(月・休)
会場 : 11月3日(日・祝) 富山県 富岩運河環水公園・野外劇場(富山県富山市湊入船町)
11月4日(月・休) 富山県美術館(富山県富山市木場町3-20)
参加アーティスト : 木ノ下裕一、北尾亘(振付家・ダンサー・俳優・“Baobab”主宰) ほか
主催(予定) : 東京都、アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、富山県

リーディングアーティスト プロフィール

木ノ下 裕一

1985年和歌山市生まれ。小学校3年生の時、上方落語を聞き衝撃を受け、古典芸能への関心を広げていく。京都造形芸術大学映像・舞台芸術学科で現代の舞台芸術を学び、2006年に古典演目の現代的上演を行う木ノ下歌舞伎を旗揚げ。作品の補綴・監修という立場を取りつつ、様々な演出家とタッグを組みながら創作するスタイルを取っている。団体の代表作に『黒塚』『北海道四谷怪談-通し上演-』『三人吉三』『心中天の網島』『義経千本桜-渡海屋・大物浦-』などがあり、2015年に再演した『三人吉三』にて読売演劇大賞2015年上半期作品賞にノミネートされる。2016年に上演した『勤進帳』の成果に対して、平成28年度文化庁芸術祭新人賞を受賞。その他古典芸能に関する執筆、講座など多岐にわたって活動中。2016年に博士号(芸術博士)取得。平成29年度芸術文化特別奨励制度奨励者。



撮影: 東直子(Naoko Azuma)

東京キャラバン in 岡山 —福原充則がリーディングアーティストとして初参加!!—

日程(予定) : 2019年12月8日(日)
会場 : 倉敷物語館(岡山県倉敷市阿知2丁目23-18)
参加アーティスト : 福原充則(劇作家・演出家) ほか
主催(予定) : 東京都、アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、岡山県

リーディングアーティスト プロフィール

福原 充則

1975年生まれ、神奈川県出身。2002年、劇団「ピチチ5(クインテット)」を旗揚げ、主宰と脚本・演出を務める。以降、舞台や映像の垣根を越え、幅広く活躍。ベッド&メイキングス公演『あたらしいエクスポージョン』で第62回岸田國士戯曲賞を受賞。また、同劇団にて上演の『墓場、女子高生』は、高校演劇界からの上演希望が後を絶たない。主な舞台作品に『サポテンとバントライン』(脚本・演出)、『どどめ雪』(脚本)、『俺節』(脚本・演出)等。映画『愛を語れば変態ですか』では監督デビューを果たし、手掛けた映像作品は、『血まみれスケバンチェーンソー』(脚本)、『視覚探偵 日暮旅人』(脚本)、『ヒーローを作った男 石ノ森章太郎物語』(脚本)など多数。最新作は、連続ドラマ『あなたの番です』(NTV)。



東京キャラバン2019 開催概要

※各回の詳細は別途発表します。

東京キャラバン in 北海道 一本プロジェクトを総監修する野田秀樹が北海道へ!!

<公開ワークショップ>

日時 : 2019年12月
会場 : 未定
参加アーティスト : 野田秀樹 ほか

<パフォーマンス>

日時・会場等 : 未定
主催(予定) : 東京都、アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、北海道

総監修者 プロフィール

野田 秀樹

1955年長崎県生まれ。劇作家・演出家・役者。東京芸術劇場芸術監督。多摩美術大学教授。

東京大学在学中に「劇団 夢の遊眠社」を結成。92年劇団解散後、ロンドンへ留学。帰国後、「NODA・MAP」を設立し、『キル』『オイル』『THE BEE』『エッグ』『足跡姫～時代錯誤冬幽霊～』歌舞伎『野田版 桜の森の満開の下』『One green bottle』など、時代に杭を穿つ作品を次々と発表。海外での創作活動や、歌舞伎、オペラも手掛け、国内外で高い評価を得る。

2015年より『東京キャラバン』の総監修を務め、「人と人が交わるところに文化が生まれる」をコンセプトにした文化サーカスを日本各地で展開。コンセプトに賛同する多種多様な表現者らと、文化「混流」による独自のパフォーマンスを創作、発表し多くの観客を魅了した。2018年9月～11月NODA・MAP『贗作 桜の森の満開の下』を東京、フランス、大阪、北九州で上演。表現のジャンル、国境を越え、精力的に創作活動を行っている。



※全て観覧は無料です(詳細は後日発表いたします)。※出演者やプログラム内容は予告なく変更になる場合があります。

「東京キャラバン2019」のメインビジュアルは石原七生が制作!!



各地でさまざまなジャンルのアーティストが集い、“文化混流”を重ねていく躍動感と国内外10か所以上を巡ってきた東京キャラバンの世界観を、新進気鋭の画家・石原七生が表現しました。

石原 七生

東京都生まれ
多摩美術大学 造形表現学部 造形学科卒

神話、伝承、古典文学、小説などその時々に出会う様々な物語をもとに、人との出会い、偶然訪れた場所、心が騒ぐこと、忘れられない風景、目まぐるしく入ってくる現在進行形の情報を合わせ、一見辻褃の合わないことに必然性・類似性を見出して1つに結びつけ描いている。

「東京キャラバン」が紡ぐ『物語』

「東京キャラバン」は 2015年を皮切りに、これまでに多くのアーティストを巻き込み、日本全国から地球の反対側(リオデジャネイロ)までを巡り、展開してきました。各地のパフォーマンスを率いるリーディングアーティストが地域の伝統芸能の担い手やアーティストらとともに、新しい表現を探り、ひとつのパフォーマンスを創作しています。また「演者が試行錯誤し、ぶつかり合う姿から、物作りへの興味を持ってもらえたら」という願いから、創作過程となるワークショップも公開。それぞれ異なる存在感を放つアーティストが交わり、やがて全体がひとつの大きなうねりとなっていく。そんなワークショップの様子を目撃した観覧者からは「文化が生まれる瞬間に立ち会うことが出来た」との声が多数寄せられています。

人間の創造力と肉体が生み出す新たな“文化”の面白さを、多くの人々に生で伝え、見たことのないパフォーマンスに“どきどき”・“わくわく”してもらおうという文化の種蒔き。

それが「東京キャラバン」が紡ぐ『物語』であり、このプロジェクトの最大の醍醐味なのです。

全国各地でのキャラバンを経て、「東京2020オリンピック・パラリンピック」が開会を迎えるとき、「東京キャラバン」が東京2020大会の遺産(レガシー)として、未来へと続く文化活動のプラットフォームになることを目指し、活動していきます。

2020年までの開催地域・日程

2015年 ～プロローグ～“旅立つ前夜”

① 駒沢 10/8(木)-10/10(土)

2016年 ～地球の反対側へ～

② リオデジャネイロ 8/18(木)-8/21(土)
③ 東北・仙台 9/3(土)-9/4(日)
④ 東北・相馬 9/17(土)-9/18(日)
⑤ 六本木 10/21(金)-10/22(土)

2017年 ～日本全国へ～

⑥ 京都・亀岡 8/19(土)-8/20(日)
京都・二条城 9/2(土)-9/3(日)
⑦ 八王子 9/9(土)-9/10(日)
⑧ 熊本 10/9(月・祝)-10/13(金)、10/15(日)

2018年 ～さらに日本全国へ～

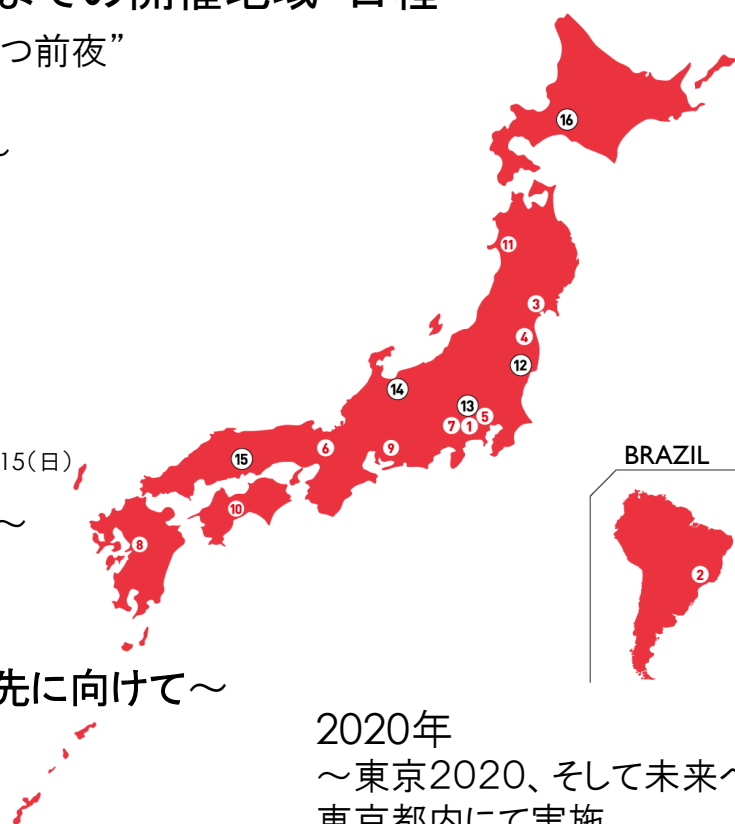
⑨ 豊田 7/22(日)
⑩ 高知 9/16(日)
⑪ 秋田 12/8(土)-12/9(日)、
2/16(土)-2/17(日)

2019年 ～2020年とその先に向けて～

⑫ いわき 5/19(日)
⑬ 埼玉 10/13(日)
⑭ 富山 11/3(日・祝)・4(月・休)
⑮ 岡山 12/8(日)
⑯ 北海道 12月 ほか

2020年

～東京2020、そして未来へ～
東京都内にて実施



「必要なのは、今、2020年にむけての『物語』、そして、その『物語』が2020年を超えても続いていけるような、そんな『物語』を作ることはできないのか？1964年の東京オリンピックには、これで戦後が終わっていきのど、日本がいよいよ世界に向かって復帰できるのだ、といった確固たる物語があったように思う。今回の東京オリンピックには、今、日本人を動かすべき、そうした大義名分のような『物語』を簡単に見つけることは難しいだろう。ただ、ある程度の大きさの『物語』を積み重ねることで、人々の「気運」を作ることはできる。そして、盛り上がった「気運」の中からしか、壮大な物語は生まれえないと思う。(中略)そして、この東京キャラバンが日本にばらまいた、目の前にある文化＝ライブの面白さ。それを経験した小さな子供たちの心の中に種が撒かれる。インターネットの普及で偏りがちになった文化とは、全く違う姿、目の前で息をしている人間が生み出す文化への興味を示してくれるようになり、その中から、新たな形態の文化を生み出すとき、この「東京キャラバン」という物語は、本当に壮大な物語になるだろう。」



野田秀樹(「東京キャラバン」構想より)

「東京キャラバン」とは？

「東京キャラバン」は、「東京2020オリンピック・パラリンピック」の文化プログラムを先導する東京都のリーディングプロジェクトとして、2015年に始まりました。劇作家・演出家・役者である野田秀樹の発案により、多種多様なアーティストが出会い、国境／言語／文化／表現ジャンルを越えて、“文化混流”することで、新しい表現が生まれるというコンセプトを掲げ、それぞれのジャンルを超えたパフォーマンスを各地で展開しています。2015年の東京・駒沢に始まり、2016年、リオデジャネイロ、東北(仙台・相馬)、六本木、2017年は京都(二条城・亀岡)、八王子、熊本にて、松たか子(女優)、中納良恵／EGO-WRAPPIN'(ミュージシャン)、津村禮次郎(能楽師)、2018年は豊田、高知、秋田にて、黒木華(女優)、熊谷和徳(タップダンサー)、チャラン・ポ・ランタン(アーティスト)など芸術文化界で活躍する様々な著名人が参加し、それぞれの圧倒的なパフォーマンスで48,600人以上の観覧者を魅了しました。2017年度からは「東京2020公認文化オリンピアド」として本格始動し、日本全国の自治体(道府県、政令指定都市、中核市)の中から立候補を募り、共感いただいた44の地域から開催候補地を選出し、2019年度はいわき市、埼玉県、富山県、岡山県、北海道での実施が決定しました。今後さらに全国各地で「文化サーカス」を繰り広げていくとともに、国や地域を超えた交流を継続的に図ることで、東京2020大会以降の文化的な基盤を創っていきます。

東京キャラバン公式ウェブサイト：<http://tokyocaravan.jp>



東京キャラバン～プロローグ～(2015年)
撮影：井上嘉和



東京キャラバン in RIO(2016年)



東京キャラバン in 東北(2016年)



東京キャラバン in 六本木(2016年)
撮影：篠山紀信



東京キャラバン in 京都(2017年)
撮影：井上嘉和



東京キャラバン in 秋田(2018年)
撮影：コンドウダイスケ

東京都



ARTS
COUNCIL
TOKYO



本リリースに関するメディアお問い合わせ先
東京キャラバン広報事務局 担当：木村・山根
TEL: 03-6263-9168 Email: press@tokyocaravan.jp